

眞珠灣攻撃拔萃

千九百四十六年（昭和二十一年）ワシントン。アメリカ政府印刷局

第十卷 第四千六百五十九頁

リチャードソン氏 失禮ですがお名前を伺ひます。

シユルツ海軍中佐 レヌター。ロバート。シユルツと申します。

リチャードソン氏 十二月第一週におけるワシントンでの任務はどの方面
でしたか。

シユルツ中佐 海軍省通信局で情報通信係員としての命令を受けて居りま
した。これは私の常時の任務でありました。併し臨時の仕事として口頭
命令により大統領官舎で海軍省副官の連絡補助員として勤めて居りまし
た。當時の副官はピアードール大佐でありました。

第四千六百六十頁

リチャードソン氏 千九百四十一年（昭和十六年）十二月六日ノ夜には大
統領官舎内ピアードール提督の事務室で當番勤務中でありましたか

シユルツ中佐 私は大統領官舎で當番勤務して居りました。

リチャードソン氏 十二月六日の晩にクレイマー大佐が大統領官舎に来て

大統領に幾通か文書を渡したのを記憶してゐますか。

シユルツ中佐 はい、記憶しております。

リチャードソン氏 クレイマー大佐が来たのは何時頃ですか。

シユルツ中佐 九時から十時迄の間でした。大抵九時半頃だつたと思ひま

す。

× × × × ×

第四千六百六十二頁

リチャードソン氏 後になつて所謂「十四項目メツセーヂ」の一部を成す

に至つた項目十三箇が大統領に渡した文書の中に交つてゐた。どうか、

今になつて言明することが貴下に出来ますか。

シユルツ中佐 いえ、言明は出来ません。私はそのメツセーヂを讀みま

せんでしたから。私が「メツセーヂ」の内容を知るやうになりましたの

は、本調査中に現はれた話や新 その他を通してであります。

リチャードソン氏 宜しい。それでは伺ひますが、貴下が大統領にこの書類を渡した時にどんなことがありましたか。

書類を渡してからも貴下は猶ほ部屋に居られたのでせう。

シユルツ中佐 はい、後まで部屋に居りました。

リチャードソン氏 その時どんなことがありましたか。

シユルツ中佐 大統領は書類を読まれましたが、通讀するのに十分間位はかかりましたでせう。讀んで了うとホプキンス氏に渡されました。

× × × × ×

シユルツ中佐 ホプキンス氏は書類を一讀してから大統領に又返しました。大統領は今度はホプキンス氏の方へ向いて申されまは「これは戦争を意味するものである」と。これは大統領の言はれた言葉その儘の言ひ方が斯うであつたかは確かではありません。大統領の言葉の内容であります。